

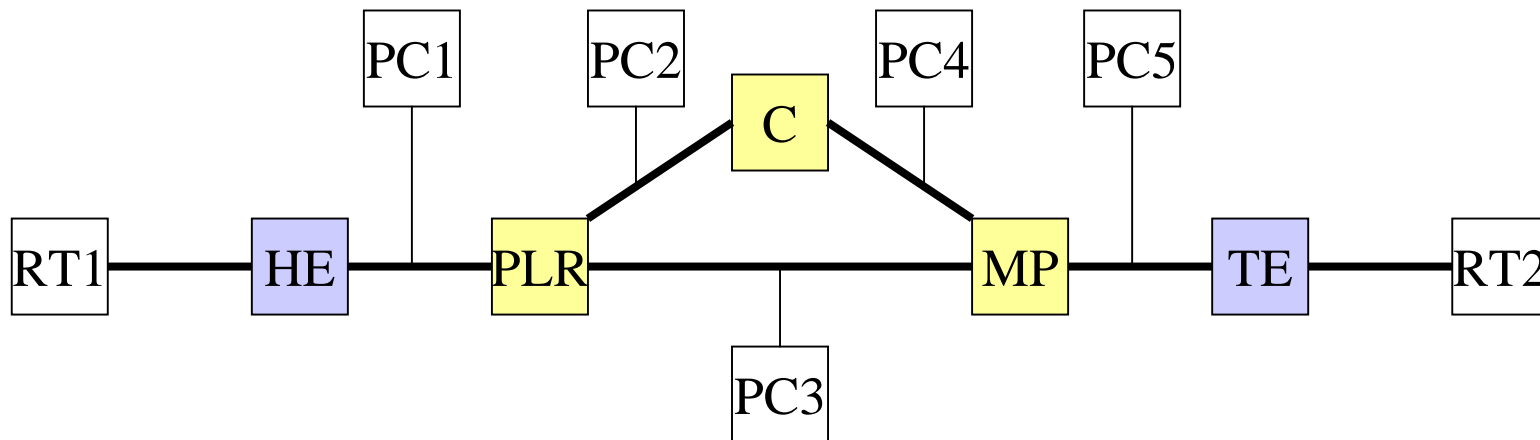
第6回ルータ相互接続試験

INTEC Web and Genome Informatics

楠田 友彦

FR/Protection試験論理構成(1)

- Global/Local共通
- PLR、MP、Cは異なるベンダ。
 - HEはMPと同一のベンダ。
 - TEはPLRと同一のベンダ。

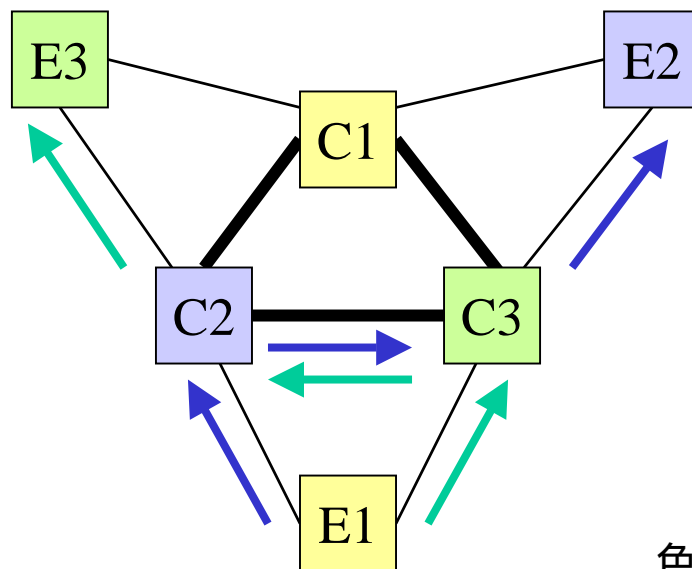


FR/Protection試験方法

- HEからTEにパス(Working/Backup)を張る。
- RT1からRT2に1000ppsでパケットを送信する。
 - 切り替え時間の測定
- PC1、PC2、PC3、PC4、PC5でパケットキャプチャする。
 - メッセージがどのような順番で送受信されるか
- PLR-MP間のリンクをUp/Downさせる。

FR/Protection試験論理構成(2)

- Edgeは、異なるベンダのCoreに接続。



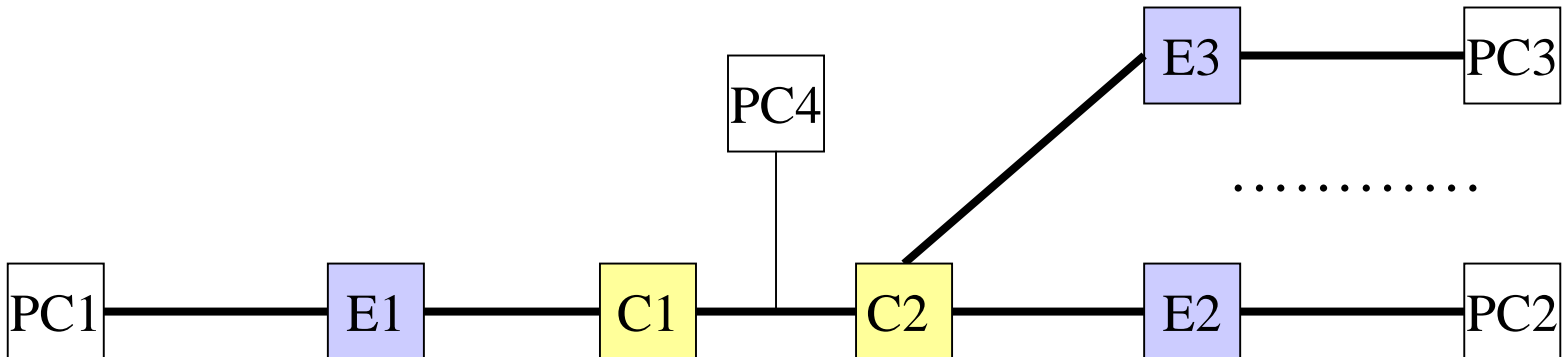
色はベンダの違いを表す。

必要I/F数

- L2VPN
 - 各ベンダ2筐体用意(Core1、Edge1)
 - Core
 - GbE-SX x 3
 - FE x 1 (管理ポート)
 - Edge
 - GbE-SX x 1
 - FE x 2 (管理ポート含)
- FR/Protection
 - 各ベンダ2筐体用意(Edge2)
 - Edge
 - GbE-SX x 1
 - FE x 2 (管理ポート含)

L2VPN試験論理構成

- P-to-P(Martini)、P-to-MP(vkompella)共通
- 従来のEdge試験と同様な構成
 - Coreは固定(シングルベンダ)。
 - 対抗側のEdgeすべてにパスを張る。



L2VPN試験方法

- PC1からPC2、PC3(P2P、P2MP)にパスを張る。
- PC1からPC2、PC3にUDP Pingする。
 - 導通試験
- PC1、PC2、PC3、PC4、PC5でパケットキャプチャする。
 - フレームの確認